

Vol.28 ～サウジアラビアの廃棄物管理～

日・サウジ・ビジョンオフィス・リヤド 長澤 諒祐

サウジアラビアの廃棄物事情

サウジアラビアでは、国家改革戦略「Vision2030」の下で、循環型経済（サーキュラーエコノミー）への移行が国家戦略として定められている。サウジアラビアの廃棄物管理分野は近年、国家廃棄物管理センター（MWAN：ムワン）による制度整備と、サウジ投資リサイクル公社（SIRC）を中心とした事業化の進展を背景に、大きな転換期を迎えている。2018年時点では、廃棄物全体のうち、埋立処分以外の方法で処理される割合は約5%にとどまっていた。しかし、その後の制度改革や資源循環インフラへの投資により、廃棄物管理の高度化が進められている。

MWANは、2040年までに埋立処分を回避する割合を90%まで高める目標を掲げている。これは、廃棄物の中間処理やリサイクルを通じて最終処分量を削減するものである。MWANは、この目標の達成に向けて全国を25の廃棄物管理クラスターに区分したマスタープランを策定し、大規模な資源循環インフラの整備を推進している。

<展示会場にて賑わう MWAN ブース>



(日・サウジ・ビジョンオフィス撮影)

サウジアラビアの廃棄物管理市場の現状

サウジアラビアでは、急激な人口増加、都市化、工業化に加え、NEOM、Qiddiya、Red Sea Project、キングサルマン空港、リヤド万博、サッカーワールドカップなどの大型プロジェクト開発に伴い、廃棄物量が増加している。

2026年1月に開催された環境関連の展示会、「[IFAT Saudi Arabia](#)」において、MWANのアブドラ・アル・セバエイ CEOは、サウジアラビア国内で発生する廃棄物量が、年間1億3,400百万トン超（2026年時点）に達していると説明した。この数値は、一般廃棄物、農業廃棄物、産業廃棄物、建設・解体廃棄物を含む全国ベースの推計値である。（参考：環境省によると、日本の廃棄物量は約4.02億トン（[産業廃棄物3億6,725万トン](#)＋[一般廃棄物3,897万トン](#)））

制度改革を支える MEWA、MWAN、SIRC

サウジアラビアの資源循環政策を担う3組織を紹介する。

組織	正式名称	主な役割
MEWA	Ministry of Environment, Water and Agriculture (環境・水・農業省)	経済循環・環境政策を統括する政策官庁
MWAN	National Center for Waste Management (国家廃棄物管理センター)	廃棄物分野の制度設計・規制・投資促進を行う規制機関
SIRC	Saudi Investment Recycling Company (サウジ投資リサイクル公社)	循環経済分野の事業開発・投資・施設運営を担う実行主体

環境・水・農業省 (MEWA)

MEWAはサウジ政府の環境・水・農業分野を所管する政府省庁。廃棄物分野では、国家レベルの

環境・廃棄物管理政策や戦略の策定、法制度の整備、関係機関の監督を担う。廃棄物の適正処理やリサイクル、循環経済の推進など、環境政策全体の方向性を示す「政策・戦略面での司令塔」と位置付けられる。

国家廃棄物管理センター (MWAN)

サウジアラビアの廃棄物管理セクターを専門的に規制・発展させる政府機関。同組織の主な業務は以下の通り。

- ・ 廃棄物の収集、運搬、処理、リサイクル、最終処理等に関する規制・基準の策定
- ・ 事業者へのライセンス許認可、監督
- ・ 廃棄物データの管理、モニタリング

MWAN は民間投資を促進し、リサイクル・資源回収の拡大を通じて、持続可能な廃棄物管理体制の構築を推進している。

サウジ投資リサイクル公社 (SIRC)

SIRC は 2017 年にサウジアラビア公共投資基金 (PIF) によって設立された循環経済事業会社である。SIRC は MWAN が形成する市場を実際のプロジェクトへ転換する役割を担っている。

同社の主な業務は、以下の通りである。

- ・ 廃棄物管理
- ・ 海外企業との連携
- ・ リサイクルインフラ整備
- ・ 事業投資・資金調達
- ・ JV 設立
- ・ 施設運営

一例として、同社は写真のようなリサイクルに関わるインフラ整備も行っており、この機械に PET ボトルを投入すると、専用のアプリを通じて、提携企業などで利用できるポイントが付与される仕組みだ。

SIRC は傘下に、産業廃棄物処理・リサイクルを担 Reviva、建設・解体廃棄物処理・リサイクルを担う Akam、金属リサイクルを担う ELECTA、海洋廃棄物・油流出の対策を担う SAIL など、様々なグループ企業を有している。

今後の展望

サウジアラビアの資源循環・廃棄物管理分野は、まさにこれから本格的な発展が期待される市場である。2026 年 1 月には、環境関連の国際展示会「IFAT Saudi Arabia」がリヤドで初開催され、同分野への関心の高まりがうかがえた。日本企業の出展はまだ限定的であったが、こうした機会を積極的に活用し、日本の優れた技術やノウハウの海外展開につなげていくことが期待される。(2026 年 9 月)

お問合せ先

日・サウジ・ビジョンオフィス・リヤド

Address: Riyadh, Qurtubah dist, Airport Road - Imam University Oasis

G Floor. Building Number: 3678 / Postal code: 13224

E-mail: infovo@sj-visionoffice.jetro.go.jp Website: <https://www.jetro.go.jp/sj-visionoffice/>

本資料は、執筆者の個人的な見解であり、日・サウジ・ビジョンオフィス・リヤドの公式な見解を示すものではありません。

<リヤド市内のごみ収集ボックス>



家庭ごみは分別なしで出されることが一般的だ。
(日・サウジ・ビジョンオフィス撮影)

<SIRC が運営する PET ボトルの収集機>



(日・サウジ・ビジョンオフィス撮影)

<環境関連の展示会：IFAT Saudi Arabia>



(日・サウジ・ビジョンオフィス撮影)